

北海道教育大学附属釧路義務教育学校の目指すもの

— リーダーシップ・フォロワーシップと
地域リーダーの育成を中心として —

北海道教育大学附属釧路義務教育学校

■学校の教育目標

個性と協働性を尊重し、たくましく生きる人間

道東に根ざし9年一貫したリーダーシップ・フォロワーシップの育成



| | 学級数 | 児童生徒数 | 職員数 |
|------|-----|-------|-----|
| 前期課程 | 12 | 300名 | 18名 |
| 後期課程 | 9 | 249名 | 18名 |

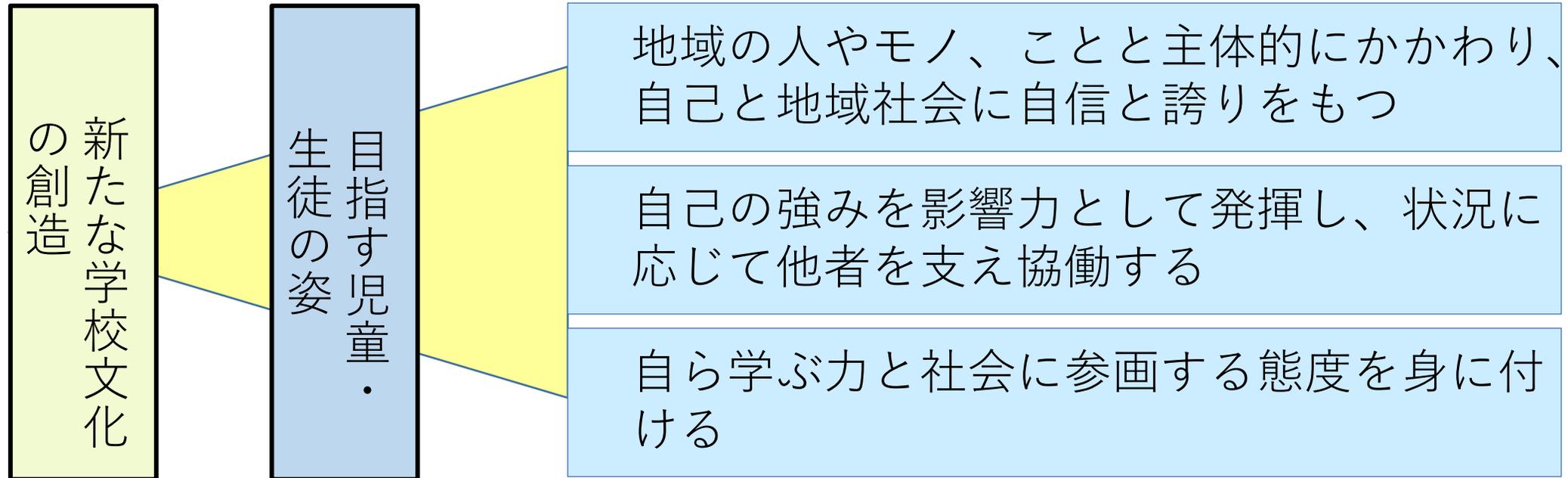
- 北海道教育大学附属釧路義務教育学校は、令和3年4月1日から施設分離型の義務教育学校として新たな一步を踏み出すことになりました。
- 今年度は、開校3年目です。準備期間も含めてここ3年間、コロナ禍での取組の停滞がありましたが、リスタートします！

釧路地区附属小学校・中学校を義務教育学校にする4つの理由

1. 北海道の急激な過疎化とへき地・小規模校の学校経営課題
 - (1) 北海道の広大な地理と逼迫した地方の急激な過疎化（特に道東）
 - (2) 北海道東部の学校経営の課題と公立義務教育学校の増加の現状
2. 地域の教育委員会から大学・附属学校へ義務教育学校モデル開発の強い要請
 - (1) 地元自治体・教育委員会から義務教育学校化に関する強い要望
 - (2) 地方の地域リーダー減少に対応した附属義務教育学校へのカリキュラム開発の要望
3. 公立義務教育学校のモデル開発の限界と附属学校の公立学校に果たす責務
 - (1) 全国的開発の現状と公立義務教育学校のモデル開発の限界
 - (2) 附属学校の公立学校に果たす責務
4. 道東の附属義務教育学校に必要とされるカリキュラムモデル・学校経営モデル
 - ①郷土愛・地域貢献カリキュラム
 - ②小学校教科担任制等の小中一体型カリキュラム
 - ③リーダーシップ・フォロワーシップ育成カリキュラム
 - ④小中一体的な経営改革のマネジメント

★教育理念の共有⇨グランドデザイン 附属釧路義務教育学校が目指す教育

道東に根ざし9年一貫した
リーダーシップ・フォロワーシップの育成



義務教育学校化を進めてきた共通の理念 9年一貫したリーダーシップ・フォロワーシップの育成

育成するリーダーシップ⇔フォロアーシップ

【リーダーの役割】

誰もがリーダーになる

- ・フォロアーがフォロアーシップを発揮しやすいようにする
 - ・フォロアーに権限を委ねたり、フォロアーを支える
 - ・フォロアーを従わせるのではなく、フォロアーのファシリテートする
- フォロアーを育てるリーダーの役割

自分と仲間、地域を大切にする

【フォロアーの役割】

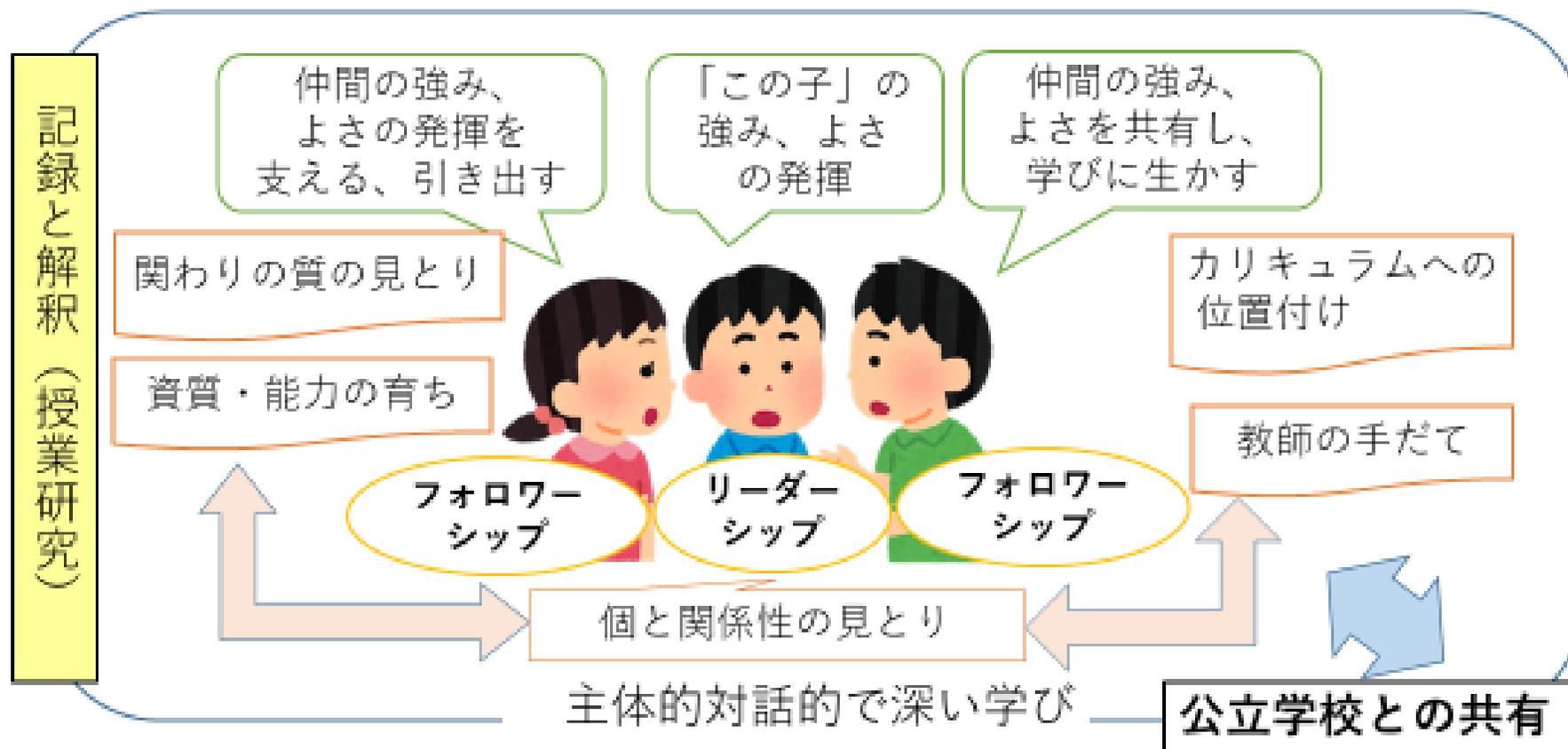
誰もがフォロアーになる

- ・リーダーがリーダーシップを発揮できるようにアドバイスする
 - ・リーダーの行動を補完する
 - ・リーダーに従うだけではなく、創造的に具現化する。
 - ・任された小グループの中でリーダーの役割を担い、全体のリーダーを支える
- リーダーと組織を支えるフォロアーの役割

◆どの子にもある「強み」を発揮できるように

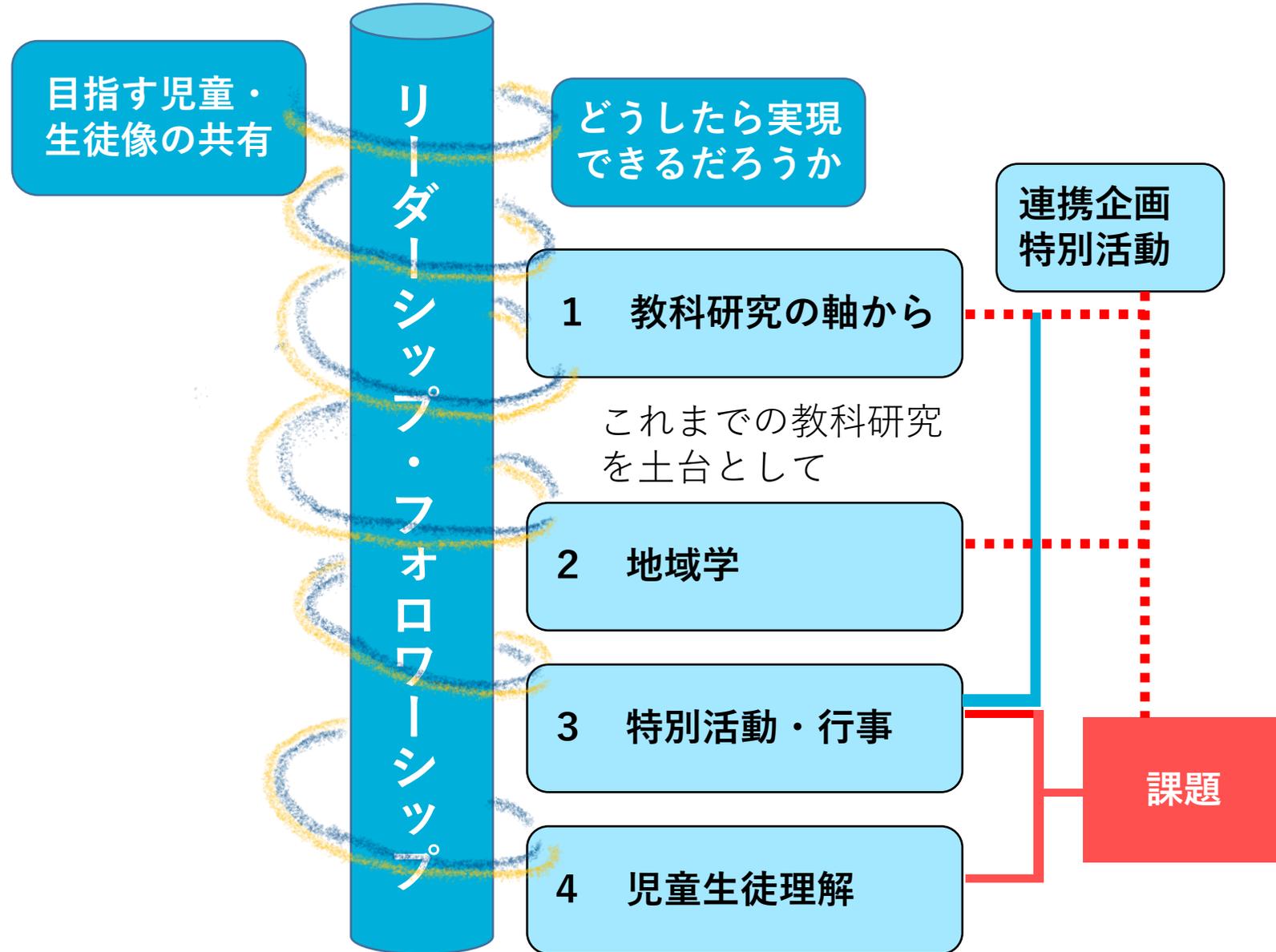
リーダーシップ・フォロワーシップの育成 本校の学校作りの大きな柱へ

◆一人一人の「強み」が発揮される学び方は？場面は？教師の関わり方は・・・？

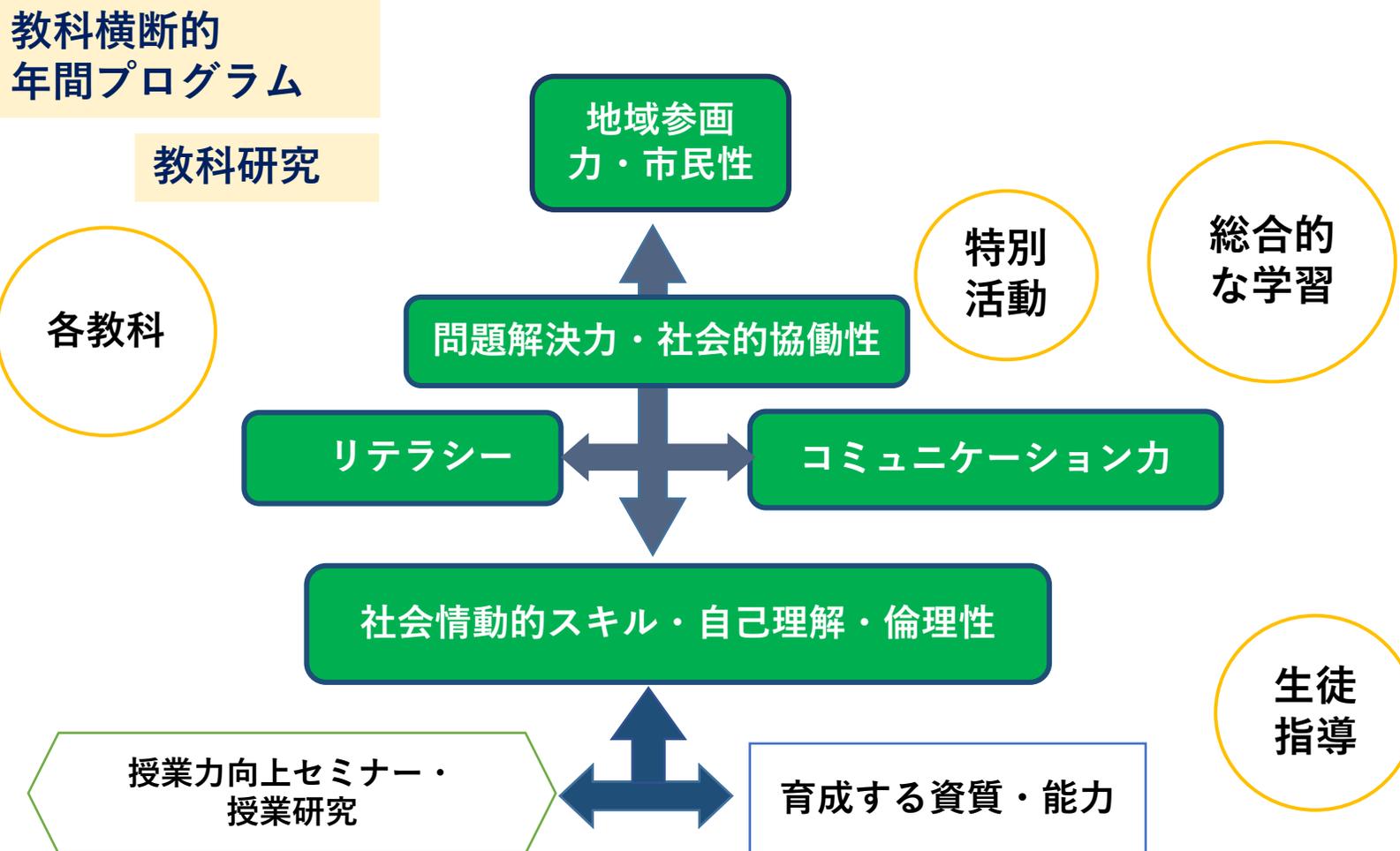


本校の「リーダーシップ・フォロワーシップの育成」と「カリキュラム・マネジメント」

学校の教育目標の実現のために



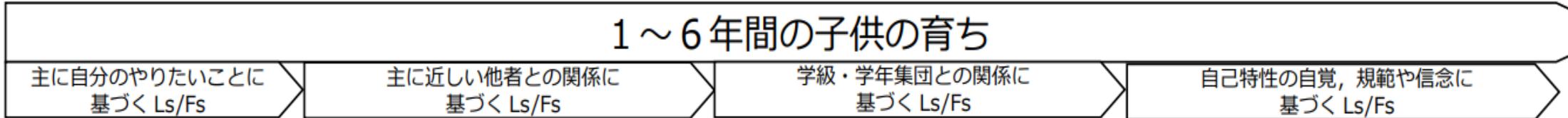
リーダーシップ・フォロワーシップの柱となる資質・能力



9年間を見通し各教科で共通の視点を明確化し、仮説検証型の研究スタイルから事実解釈型の研究スタイルに移行した。

リーダーシップ・フォロワーシップの発揮 主体的・対話的で深い学び 学習評価に生かされていく見取り

1～6年間の子供の育ち



マインド（意識）の発達理論



教科研究

◆発達段階に即したLs・Fsの発揮を支援

義務教育学校 各教科9年間の学びを繋ぐ 系統表

体育・保健体育科 9年間で育成を目指す子供の姿 系統表

北海道教育大学附属釧路義務教育学校

| | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--------------------|--|
| 9年間で 目指す 子供の姿 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | (高校も含めて、12年間を見据える) | |
| | 体を動かすこと自体の楽しさを味わいながら、基礎的な動きや基本的な技能を身に付け、各種の運動の基礎を培っていく姿 | | | | | | | | | | |
| | 運動の面白さに触れ、様々な課題を発見し、解決したい課題を選択・決定する、解決に向けて思考・判断する、他者に伝え合う活動を通して、運動の楽しさや喜びを味わう姿 運動の価値や特性を知り、運動の面白さに触れ、自己・他者、チームの課題に応じて、それぞれの挑戦を尊重し合いながら解決を目指す活動を通して、多様な楽しみ方を味わい、お互いのスポーツ文化を築いていく姿 | | | | | | | | | | |
| 運動の面白さに触れ、多様な楽しみ方を味わい、互いのスポーツ文化を築いていく子供の育成 | | | | | | | | | | | |

体育・保健体育科 「深い学び」を具現する～影響力を発揮する子供の姿～

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------|---|----------------------------------|-------------------------------|--------------|------------------|--|--|---|--|--|--|---|
| 教科の 目標 | 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けられるようにする。 (2) 運動や健康について自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るく生活を営む態度を養う。 | | | | 動かしていく 見方・考え方 | | | | | | | |
| 領域 | 体づくり領域における 影響力を発揮する姿 | 器械運動領域における 影響力を発揮する姿 | 陸上運動領域における 影響力を発揮する姿 | 水泳運 影響力 | 6年 | ・ <u>発進(足など)を選んでいる。</u> ・ <u>自己の能力に適した課題の仕方を選び、技をよりよくする。</u> | ・ <u>記録(足など)を選んでいる。</u> ・ <u>自分の体を扱うように動かすこと(リズムキル・スムーズなど)ができるようになる。</u> | ・ <u>記録)を選んでいる。</u> ・ <u>体の使い方をよりよくして、早く・泳ぐなどの運動がより安全に行われる。</u> | ・ <u>能力に応じて作戦内容を選んだりする。</u> ・ <u>基本的なボール操作、ボールを扱えない時の動きを煮詰めている。</u> | ・活動内容を選んだりする。 ・ <u>力強い動きを生み出すための工夫を考案する。</u> (体づくり領域) | ・表したい感じをイメージし、メリハリのある動きを組み合わせ、ひとまとまりの動きをつくる。 | |
| 1年 | ・運動遊びに <u>進んで取り組む。</u> ・ <u>友達のよい動きを見付け、それを友達に伝える。</u> | ・ <u>きまりを守る。</u> | ・ <u>自分の考</u> | | | | | | | | | |
| 2年 | ・ <u>楽しさを感じながら体を動かしている</u> | ・ <u>様々な動き(転がる・逆さになる等)にチャレンジ</u> | ・ <u>様々な動き・コース(まっすぐ・くろくろ)</u> | ・ <u>水のき</u> | 7年 | ・ <u>各種運動のすることを理解し、積極的にチャレンジする。</u> ・ <u>互いのチャレンジ、学びを尊重し合いながら運動する。</u> ・ <u>運動の目的を明確にする。</u> ・ <u>運動の取り組み方を工夫する。</u> ・ <u>自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決を目指す。</u> ・ <u>他者と課題解決方法を伝え合いながら、自己選択・決定する。</u> | | | | | | |
| | | | | | 8年 | ・ <u>自身の知識や技能を活用し運動の取り組み方を工夫する。</u> ・ <u>専体の調子を整え、仲間と交流する。</u> ・ <u>運動の意義を理解している。</u> | ・ <u>仲間の動きと自己の動きの違いなどを指摘し合い、合理的な動きのポイントを指摘している。</u> ・ <u>基本となる技がよりよくできる。</u> ・ <u>器械運動の特性や成り立ちを理解している。</u> | ・ <u>自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫する。</u> ・ <u>各項目特有の基本的な技能を身に付けている。</u> ・ <u>陸上競技の特性や成り立ちを理解している。</u> | ・ <u>自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫する。</u> ・ <u>四つの泳法に応じた手の動きや足の動きと呼吸動作を身に付けている。</u> ・ <u>水泳競技の特性や成り立ちを理解している。</u> | ・ <u>課題に応じて場所を選んだり、運動の行ない方のポイントについて検討したりしている。</u> ・ <u>基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できる。</u> ・ <u>各種目の技術や名称やその活用方法を理解している。</u> | ・ <u>課題の解決に向けて、身体動作の方法を考案して実行している。</u> ・ <u>基本となる技をかけた後、得意な動きを組み合わせたり、得意な動きを組み合わせたりして、得意な動きを生み出す工夫を考案する。</u> ・ <u>得意な動きを生み出す工夫を考案する。</u> (体づくり領域) | ・ <u>仲間のよい動きや表現などを指摘し合っている。</u> ・ <u>リズムに乗って全身で弾みながら自由に踊っている。</u> ・ <u>様々なリズムに応じた動作を理解している。</u> |
| | | | | | 9年 | ・ <u>各種運動のすることを理解し、自主的にチャレンジする。</u> ・ <u>一人一人の違いを尊重し合いながら運動する。</u> ・ <u>運動やスポーツの価値の仕方を選び、自ら運動に関わろうとする。</u> ・ <u>運動の取り組み方を工夫し、お互いの工夫を大切にしている。</u> ・ <u>自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決を目指す。</u> ・ <u>運動やスポーツの多様性を理解する。</u> | | | | | | |
| | | | | | | ・ <u>ねらいや体力の程度に応じて運</u> | ・ <u>楽しむための自己に適したか</u> | ・ <u>自己の課題に応じて学習場面に</u> | ・ <u>自己の課題に応じて学習場面に</u> | ・ <u>自己の課題に応じて学習場面に</u> | ・ <u>仲間に対して技術的な課題や役割を</u> | ・ <u>それぞれのダンスの特徴に応じた精</u> |

教科研究

「面白さに基づく自分自身を構築する楽しさ・克服する楽しさ・模倣(表現)する楽しさ等」
 味、文化、「本質的な面白さ」に着目

リーダーシップ・フォロワーシップを発揮の見取りを踏まえた教科指導

問題の場面は、たし算なの？ひき算なの？

ぜんぶで23人

外の16人 教室の7人

うん！図は正しいと思うよ

外の16人と教室の7人とをたすと全部で23人になるからたし算だよ。

図をかくと、こんなふうになるよね

そうかあ…たし算がよさそうかあ

(必要に応じて)
・算にしか見えない？
実は・算で考えた人も…

でもさ、外の16人って、はじめからわかっていたことじゃないよね？

外の？人 教室の7人

そうそう。16人って、問題文にも書いていないよね

ぼくは、「 $23-7=16$ 」のひき算で表すといいと思うよ

たし算も、図を正しく表しているよね

お話では、「中休みに教室の外に出たのは何人ですか？」と聞いているから、ひき算があてはまりそうだね

(必要に応じて)
お話の答えを求める式はどっちかな？たし算はまちがいかないかな？

2年2組のお話はどうですか？～II

教室の外

ただいま～！ ぜんぶで23人

ひき算だと、 $23-8=15$ だね。

外の??人 教室の8人

その通り。もちろん正解だよ～I

13(外)+8(中)=21でまちがいだとわかるよ

いや、何かおかしい 外に出た人が2人少ないよ！

だって、全部で21人になっているよ

ぎゃくのたし算をして、23になれば正解だけど…

ただいま～！ ぜんぶで23人

この日はどう？

ひき算だと、 $23-12=11$ だね。

外の?人 教室の12人

このひき算も間違いか…?I

11(外)+12(中)=23で、全部の数とピッタリあうよ

合ってる！ピッタリ！

だって、全部で23人でピッタリだよ！

ぎゃくのたし算をして、23になるから正解だ！

2つとも、ひき算があっているかどうか調べるわざを使っているぞ？何かな？

ぎゃくのたし算をしている！

ぎゃくのたし算をして、全部の数になるかどうかを調べる！

自分の考え、互いの考えを尊重しつつ、強みを生かしながら協働的に課題の解決へ向かうシェアドリーダーシップの発揮

1. 問題提示

問題 20 次の計算をしよう。(3つの数の乗法)

$$(-5) \times (+87) \times (+2)$$

●前回の授業との違いは何かな？

○かける数が増えている。

■かける数が増えているけど計算はできそうかな。少し時間をとるのでノートに取り組んでみよう。

| | |
|---------------------------------|-----------------------------------|
| ①前から順番に | ②順番を入れ替える |
| $(-5) \times (+87) \times (+2)$ | $(-5) \times (+87) \times (+2)$ |
| $= (-435) \times (+2)$ | $= (+87) \times (-5) \times (+2)$ |
| $= -870$ | $= (+87) \times (-10)$ |
| | $= -870$ |

- ◆ $(-5) \times (+87)$ を提示し、少し間をおいて、 $\times (+2)$ を提示することで前時との違いを明確にし、これまでの学習問いの違いを板書する。
- ◆ ロイロノートに考えを提出させる
- ◆ ①の考えを取り上げて全体共有。その後、3つの数の乗法の問題は、前から順番に計算すればできるから、前から順番に計算していこうと断定することで、違う計算



数の積は求められるから、いいね。

計算する方法があります。

● (②の式をすべて取り上げて) このように計算すると簡単に求められるようだけど、どのように考えたか見えるかな？(挙手で立場を表明させる。)

| | |
|---|---|
| ①手の上がる生徒が多い場合 | ②手の上がる生徒が少ない場合 |
| ●手の上がる生徒が多いようだけど、考えていることは同じかな？近くの人と交流して確認しよう。 | ●困っている生徒に対して何かヒントをいえるかな？ ○入れ替える ○キリがいい数字をつくる。 ●いくつかキーワードが出たけど考えていることは同じかな？近くの人と交流して確認しよう。 |

- ◆ 考えが読み取れない生徒の困り感を解消するために、学級全体でヒントを出し合う活動を行う。
- ◆ 小集団交流の中で指名計画を練る。

中で、分けずに書くとうなるかと、働きかける。

声

運動ふれあい週間に、
後期課程の子達に協力してもらえたら、
みんな元気出るなあ・・・

コロナ禍で十分運動ので
きていない児童の補助
として、2021年初の連
携企画として実施。



前期課程の担任と
後期課程の学級代表が
放課後打ち合わせ

どんな活動ですか？
どんな協力できたら
いいですか？

後期課程では学級で作戦会議

実施する運動は決まっているので、サポートの
内容は？
役割分担や声かけで大切なことは何かな～
→では実践してみよう！



相手を尊重し支える
サーバントリーダーシップの発揮

教職員のブレストから生まれる

連携企画（特別活動編）

声

中1ギャップの解消のためにも、
子供たち同士で中学校生活について教え
たり、質問したりできたらいいな・・・

中学校はこんなところ！
時間の使い方が大切になるよ！



2017年の座談会

リモートで座談会に挑戦！
相談の時間を増やすことに成功



2021年の座談会

2017年より連絡進学に関わる取組として、児童＝生徒をつなぐ「座談会」を実施してきた。主に学校生活や学習に関わることの質疑を受けたり、先輩から後輩へ楽しく生活の様子を伝える機会としてきた。児童＝生徒には大変好評な取組の一つである。

教職員のブレストから生まれる

連携企画（行事編）

声

8年生の総合的な学習の時間のフォーラムの時に、6年生と共に「釧路の課題解決案」について考えると、8年生がより自分たちの学習を生かして、6年生を導きながらまとめ活動を行い、学習の内容の理解がより深まるのではないだろうか。

面白い考えだね！
こんなつながりもあり！



「教員の評価・改善、生徒の振り返り等から、LsFsの関係性を築きながら、学習効果が高い」次年度の学習時期の確定、方法を再検討している。

8年生の討言論に参加させてもらって、
司会は、いろいろ進め方をしてくれて、みんなのキーポイントがあると、
それについてくわしく討言論して、はっていきながら良かったです。記録する人は、発表している人の意見を聞いて、記録する姿が良かったです。
意見を出す人は、自分から積極的に意見をだしたり、司会を支えたりしている姿を見て、かこみです！
今日は、このお時間とくたさ、ありがとうございました。

6年生は、当日の活動を振り返り学んだことや8年生に向けたメッセージをまとめた。

「地域学」を中心にした
総合的な学習の時間の展開

前期
課程

前田一步財団
くしろ元町青年団
南大通り青年部
釧路市役所
教育大学



身近な自然
自然環境の保全
森林保全
地域社会の理解
探求サイクルの基盤

地域を学び・発信
自治的活動

活躍する人々から学ぶ
地域を見つめ直す
地域へ発信するマスタープラン



後期
課程

釧路市役所
釧路青年会議所
クスろ・FIELD NOTE
阿寒町・弟子屈町地域おこし隊
釧路地域で活動している方々
町内会

9年

くしろマスタープラン～15歳の提案～

自分の興味関心に関わる分野から、調査・実証検証・座談会を重ねくしろの街づくりに関わる提案をする。



街づくり企画
実証検証



座談会



シンポジウム
意見書の策定



体験調査



実証検証



調査



座談会



実証検証

「地域学」を中心据えた
総合的な学習の時間の展開

地域を見つめ、自分の考えを発信する学習「地域学」

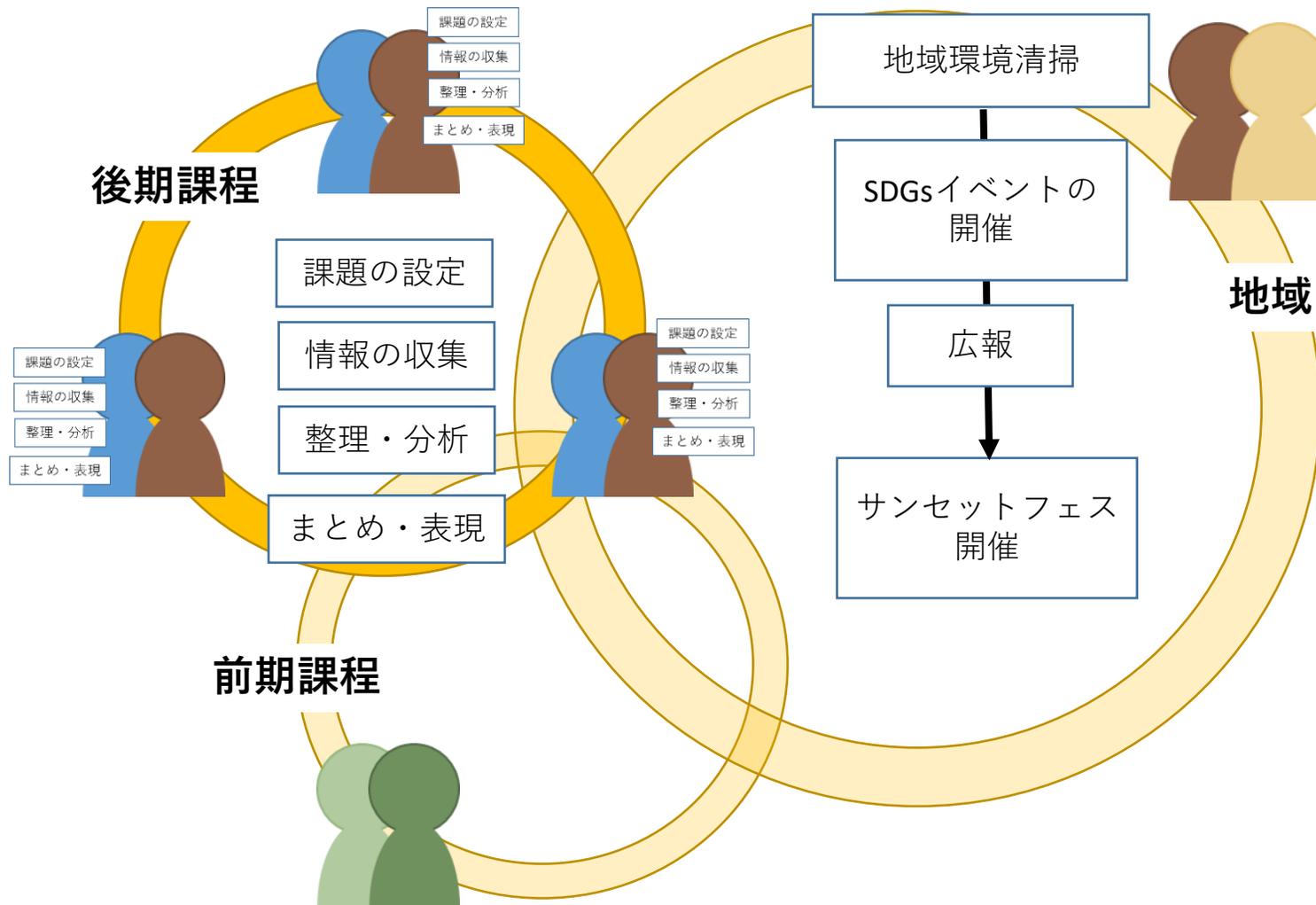
Lfshipプログラム～自治活動を通じた学習から培う力～

| | |
|-----|--------------------|
| 3年生 | 附小のまわりの生き物たち |
| 4年生 | 守ろう豊かな釧路の水源 |
| 5年生 | 阿寒の森守り隊 |
| 6年生 | 地域の宝を明日へ届けよう |
| 7年生 | くしろ再発見 |
| 8年生 | くしろパワーアクション |
| 9年生 | くしろマスタープラン～15歳の提案～ |

「地域学」を中心据えた総合的な学習の時間の展開

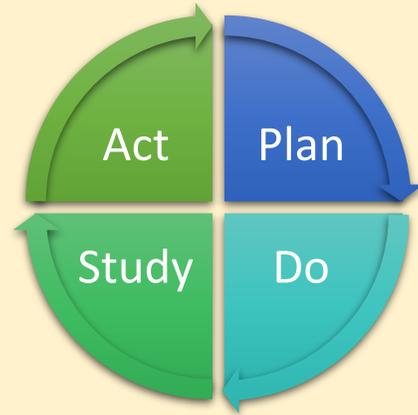
地域に根ざすサンセットフェスづくり

地域の行事がない高齢化の地区における後期課程が中心となったイベントづくり



「地域学」の学びを生かす
地域に広がる行事への挑戦

PDSAのサイクル

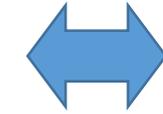


①Plan (計画) ②Do (実施)

③Study (研究) ④Act (改善)

共有

育てたい
児童・生徒の姿



主体的・
対話的で
深い学び

リフレクション

事実解釈型授業研究

リーダーシップ・フォロワーシップの
育成、各教科等で育てたい資質・能力

児童生徒理解



「個別最適な学び」と
「協働的な学び」の
一体的な充実



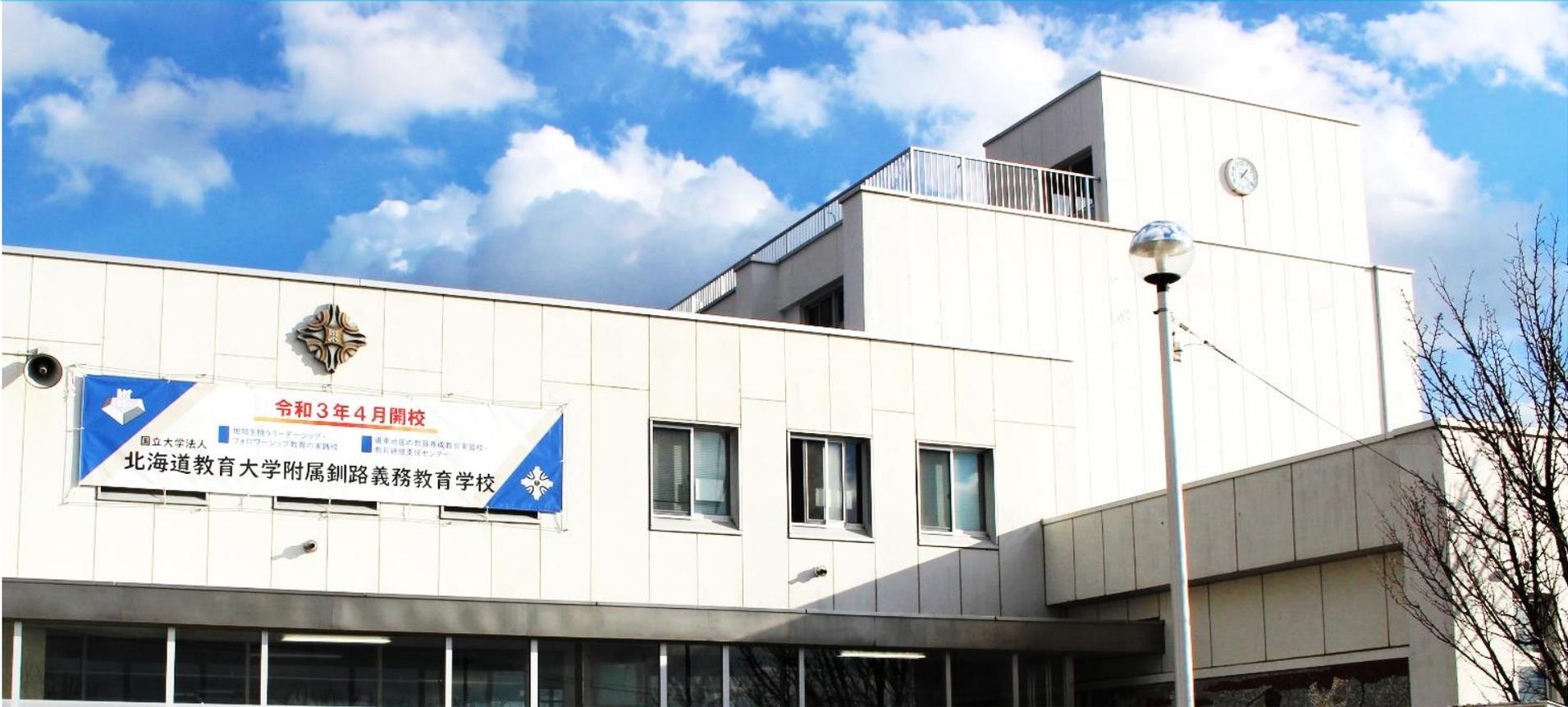
PDSAサイクル



カリキュラム・マネジメント

互いのよさを活かしたカリキュラム・授業づくり

ご静聴ありがとうございました



これからも日常の取組や教科研究、教職員研修の受け入れなど積極的に発信し、皆様に貢献できるよう頑張って参ります。

